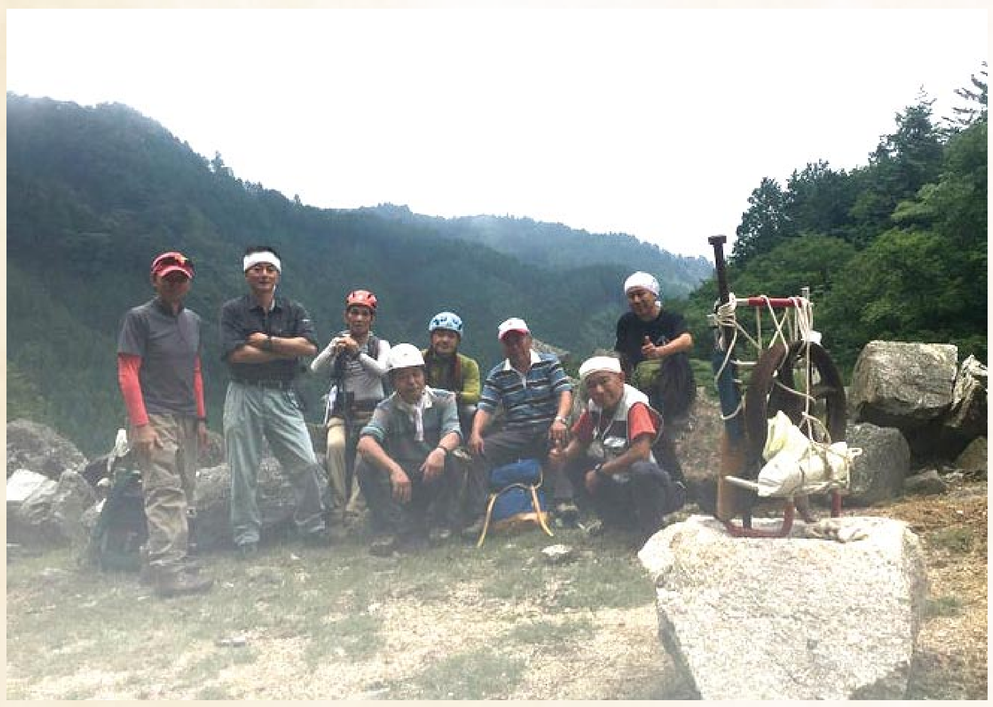
北山索道　搬器回収

標高1070mの山中に横たわる北山索道の搬器（重量は約100kg）

搬器切断作業



荷下し作業に協力していただいた方々

急登を担ぎあげる

展示の搬器は、奈良県吉野郡上北山村出口峠付近の山稜から数十m下った斜面に転がり落ちていた実物である。

平成29(2017)年8月、山林所有者の許可を得て、5つのパーツに切断して背負子で担ぎ下してきた。切断には職員3名が、発電機やグラインダとよばれる切断機器を担ぎあげ、分解。初日は一番重い上部の握索機（24kg）の部分を担ぎ下ろした。

10日後、尾鷲藪漕隊のメンバー数人と索道に関心興味ある人たちも加わり、切断した残りの機器を担ぎ下ろした。現場からは龍辻と呼ばれる標高1,260mの登り返しが難所で、足場が不安定なため苦労した。

分解された搬器